水防視察会

防災ハイキング便り

十八川区＆区体育部編集

十一月十六日（日）、体育部の皆さんの企画により、昨年度から懸案となっていました防災ハイキングが、開催されました。これは、安曇川の水害から当区を守るには、どのようなことを知っておかねばならないのか。当区の水防ポイントを訪れ、肌で感じていただくのが目的でした。

熱心にご参加いただきました

当日の行程に沿って、水防ポイントでの観察の様子をお伝えします。講師役を務めていただいた操ちゃんや力ちゃん、副武ちゃんなどの先輩の話に聞き入り、一昔、二昔前にタイムスリップしたようでした。

さぁ、出発！

お天気にも恵まれ、午前９時に会議所に集合し、出発。今回のハイキングにはご婦人方の他、ご高齢の皆様にもご参加いただき、区民の皆さんの水防に関する関心の高さを実感いたしました。

ここは竹藪だった！？

【操ちゃん】常安橋の南詰めの西側の河川敷は、少し前までグランドで、区のソフトボール大会をしていたね。そのずっと前は、竹藪が広がっていて、安曇川へ入るには、藪の中の細い道を行かねばならなかったんですよ。気持ち悪くて、とても一人ではいけなかったなぁ。

こんな立派な堤防でなかったよ！

【力ちゃん】甚八前のこの辺りは、今では幅も広く立派になっているが、子供の頃はこんなんじゃなかった。もっと細くてヤワなものやった。村普請でモッコを担いで立派にしてきたんやな。

【副武ちゃん】この辺りには蛇篭が堤防が崩れるのを防ぐのに置かれていてよ、川で水泳した合間に、そこでよう魚掴みしたもんやなぁ。川原の様子も全然ちがうわな。子供の頃は、バラス（砂利）を取るのに、あちこちに深い水の溜まりがあって、飛び込んで遊んだもんや。

【誰彼ということなく】北山ダムの建設が中止になって、水害を防ぐ方法が河床の浚渫に変わったが、なかなか進まんのう。砂利を売って、浚渫を進めることはでけんのんかの。

あれが霞堤防！

【操ちゃん】内堤防の隆ちゃんとこの西側を見てください。あそこで堤防がなくなっていますやろ。そやさかい、昨年はそこまでいかずによかったが、大水が出ると東から上がってきた水が、堤防のなくなったところから南の田んぼの方へ溢れ出すんや。

【正己ちゃん】こうして堤防が崩れるのを防ごうとしてきたんやね。これを霞堤防というんやて。

【誰彼ということなく】堤が壊れて大洪水が起きるのを防ぐために、在所の方へ水を逃がす。そら、十八川は安曇川の水とは切っても切れない間柄なんやな。怖がることはないので、正しく知って、必要な時に避難を確実にすることが大事なんやなぁ。

ここが赤岩か！

【操ちゃん】ここが赤岩で、十八川にとっては、最も気をつけていないといけない場所なんです。こんな大きなブロックで堤防を守っているのはここだけです。昔、ここが切れた（破堤した）ことがあって、流れ出した水はドッと下流へ下り、タカゲシ（江若車庫のある辺り）から西万木の神社横をかすめて上小川へ抜けた。そういう水の道があるんやで。ここから下流を見ると、よくわかりますやろ。

【義勝さん】その時やったんやな、内の家が水に浸かったのは。

【みんな】そんなことが、あったんやなぁ。何にも知らなんだが。自分の在所のことやのに、もっと知らんとあかんなぁ。

ここが田中井（タナカユ）

【操ちゃん】この水門が田中井と呼ばれているもので、安曇川の水を田中一帯に配水するために設けられています。

【誰か】コンクリートの表示に、明治２３年と刻んであるよ。古くから作られているんやな

こうして、昌山建材のプラント横を通り、梅の木グランドに到着。全員完歩。やったぁー。

公園で一休みしている間に、体育部の企画によるクイズ大会。万歩計の賞品に、参加者一同、体育部の心にくいご配慮に感動。

さて、クイズはと言うと、

・スタートから何歩？

・スタートからの距離は？

・電信棒の数は？

そんなことなら、数えておくんやったの声。和やかな雰囲気の中で、記念写真を撮り、帰途につきました。

今回のハイキングは、体力づくり、防災の勉強、地域の歴史にふれるなど、沢山の収穫がありました。体育部の皆さん、それに講師を務めていただいたり、昔の様子を話してくださった皆さんに、感謝申し上げます。ありがとうございました。

【おことわり】

発行が遅れましたことを、お詫びいたします。また、詳細なご発言を再現できていないところや、間違いのあるところは、ご容赦ください。

愚屋字平　拝